



つくば市認知症徘徊模擬訓練

～真瀬小学校区内で仮想の徘徊者に声かけ訓練を行います～

—真瀬見守る会と共催で実施します—

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼

イベント・会議等の取材依頼

イベント会議以外の事業の周知依頼

参加者募集の告知依頼

その他 (

全 1 枚(本紙含む)

<目的>

近年増加している認知症高齢者の徘徊行動が、大きな社会問題となってきています。認知症の方が住み慣れた地域で末永く暮らしていくために、大きな役割を担っているのが、地域の支援力です。そこで、今年度も地域に根ざした形で認知症徘徊模擬訓練を実施することにより、安心して生活ができる地域づくりを推進してまいります。

●日時

平成 29 年 5 月 28 日 (日) 13:00～16:30

●場所

つくば市真瀬小学校区内 (本部：真瀬総合センター)



平成 28 年度認知症徘徊模擬訓練

●内容

○徘徊 SOS 訓練 (認知症支援メールを使用しての訓練)

3 人の仮想の徘徊者 (観察者 2～3 名付) が、真瀬小学校区内の 3 つのコースを約 1 時間 30 分程徘徊します。(徘徊者の特徴：赤いニットの帽子、傘を杖代わりにしている、レジ袋を持参している)

○事前に認知症サポーター養成講座を受けた地域の方々が、徘徊者に対して、講座で学んだことを基に声かけ訓練をします。

○声をかけてくれた市民の方には「ありがとうカード」をお渡しします。

○訓練終了後、真瀬総合センターでの報告会でコースごとの結果報告をします。

●その他・ポイント

○昨年の北条小学校区での徘徊模擬訓練では、198 名の地域の皆様にご参加いただきました。

○真瀬小学校区の皆様に「認知症」についての理解を深めていただくため、事前に 15 区会で認知症サポーター養成講座を実施し、約 140 人のサポーターを養成しました。また、真瀬小学校と高山中学校での認知症サポーター養成講座で、159 名の児童・生徒の受講がありました。

●今後の方針

認知症高齢者が増加する中、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」を、地域の方及び関係機関の方と一緒に考えていくことが重要であると認識しております。このような地域に根ざした形での認知症徘徊模擬訓練を今後も、毎年市内各地区で、順次実施していこうと考えております。